



※順不同

中 村 稔	20	八 幡 和 明	24
星 山 真 理	20	福 本 一 朗	24
佐々木 壽 英	21	藤 森 勝 也	25
佐々木 繁	21	浅 井 忍	25
森 山 美 昭	22	横 森 忠 紘	26
富 樫 賢 一	22	岩 渕 洋 一 (岩 渕 伊 織)	26
伊 藤 聡	23	丸 山 晋 司	27
品 田 章 二	23	和 泉 徹	27

ご執筆いただきありがとうございました。

大谷翔平狂想曲

中 村 稔

2025年3月18日（火）、東京は梅も綻び、桜も開花宣言を待っているかの様であった。ここは東京ドーム、MLB開幕戦兼東京シリーズと称して14日から6連戦で東京ドームを舞台に日米のプロチームが一戦を交えることになっている。それにしてもこの賑わいは何だろう!? 今から2年前の東京ドーム。3年毎に行われるWBCの日本予選が行われたあの狂乱に似た雰囲気がある、と思ったのは私だけではないだろう。試合はまだしも、グッズ売り場の様子がとんでもないことになっていた2年前。昨年のドジャースタジアムとは一種違った日本独特の雰囲気を感じた。16:00開場と共にドームに入り、あの独特な野球であって野球じゃない球場感を味わうことになる。これはもう20年前息子と共に訪れたドームのあれと一緒に、いやそれ以上の興奮が僕を包み込んだ。プレゲームイベントとして、X JAPANのYOSHIKIによる両国国歌演奏があったのち19:00試合開始。大谷翔平がバッターボックスへ。呼び出し音が聞き取れないほどの熱気の中一球目を待った。ボールが続いた後、セカンドゴロ。打席では滅多に緊張しない大谷だが、この日はちょっと緊張気味か。第2打席。いい当たりもセカンドライナー。第3打席、火の出る様なライト前ヒット。この辺りから雰囲気がガラリと変わり、逆転に成功。一球で雰囲気が変わる、の典型か。4打席目は9回表、またまた得点につながるライト前二塁打。今年も大谷で開け、大谷で終わるのであろうか? ドジャース vs カブスが始まった。それは大谷のいるロスへ観戦ツアーに行くより高い200万円/枚から始まったチケット争奪戦。その異常に高騰したチケットの高値は大谷の価値と考えていいだろうか? あの地鳴りのような歓声は、ロスとはまた違った感覚で僕を包み込んだ。まだまだ、追いかける!!

(新潟市医師会)

貸金庫と金庫

星 山 真 理

2003年に当法人の理事長が先代（父）から相方に交替したときに、主銀行の貸金庫を5つ借りていることを知った。宝探しに行くような気分で、小さな貸し金庫室に初めて入った。壁一面に、マンションの郵便受け的なカステラ1本近く入るくらいの引き出しが並んでいた。解錠した。金塊どころか4個は空、1個は別に貸金庫でなくともいような書類が入っていた。このときは、先代の大雑把な金銭感覚に悩まされるその後の採め事の前兆とは思ひもしなかった。管理料が無駄で鍵の管理も面倒なのですべて解約した。この狭い閉鎖空間は居心地が悪かった。「ここで首を絞められてもわからないよな」と不安になった。素朴な疑念も湧いてきた。貸金庫の中身に関して銀行側は一切関知しないという。では暗号解読や金庫破りなど達者なプロが良からぬことを考えたら誰が責任を取るのか、と不信感を抱いた。債務過剰で銀行の奴隷状態だった先代は勧められるまま契約したのか? 今だから明かすが、貸し剥がしにあい、私の貯金の解約をせがまれ仰天した。「私は勤務医だけど?」と反駁した。25年1月、メガバンクの元行員が、貸金庫の現金や金塊を窃盗して逮捕された。このような事件はその気になれば、いつでも起こり得る。情報過多で誘惑が多い時代だ。

10数年前、当院の管理室にはミニ冷蔵庫大の頑丈そうな金庫が置かれていた。開けたらガラスの容器に人間の脳が入っていた。いつの間にか不動産の登記書類などが納まっていた。それもデジタル化などが進むに連れ、邪魔になったらしく産廃業者が処理した。東日本大震災のとき、津波が襲った三陸の海岸に多数の立派な金庫が持ち主不明のまま無惨にも放置された写真を週刊誌で見たことがある。自然災害の前には、人間の資産防衛策など無力なのを痛感した。

(柏崎市刈羽郡医師会)

君とあひみしその日より

佐々木 壽 英

「君とあひみしその日より」は新大医学部第二内科教授であった桂重鴻先生が姪ごさんの結婚祝いに作詞・作曲された大正ロマン溢れる曲である。

その曲を、秋田大学公衆衛生学教授滝沢行雄先生の奥さん富子女史がピアノ伴奏による混声四部合唱に編曲された。その楽譜を医学部合唱団が入手し、私が医学部最後の年、1961年の医学部合唱団定期演奏会で歌ったのが本邦初演となった。

そして1961年の秋、この曲をBSN新潟放送局がラジオ放送してくれることに決まった。放送局の狭いステージに大勢の合唱団員が集合して録音をとった。放送は早朝5時からBSNラジオで流れることに決まっていた。

ところが、その日の夜半に通過した台風で新潟市全域が停電になってしまった。期待してラジオの前で待っていたが放送は流れず、幻の録音となり、がっかりしたことが思い出される。

時は流れて2009年、医学部学士会に秋田日赤院長の宮下正弘先生から、「君とあひみしその日より」の曲を聴きたいという要望があり、学士会から調べてほしいと依頼された。

当時、一緒に歌っていた柏村圭二君と野村穰一君に楽譜を探してもらったが発見できなかった。BSNにもこの録音は保存されていなかった。

その後、野村君の所で楽譜が発見され、2010年10月にやっと待望の楽譜が手に入った。

そこで、医学部合唱団の部長牧野麻美さんに楽譜をお送りし、何とか録音をとってほしいとお願いした。医学部合唱団はこの「君とあひみしその日より」を、冬期練習の合間をぬってピアノ伴奏による混声四部合唱として録音され、約束通り新部長の伊勢正崇君より2012年4月CDに入れて送って下さった。

このCDを学士会から宮下先生に送ってもらい、何とか先生の期待に応えることができた。

(新潟市医師会)

後退？「異次元の少子化対策」

佐々木 繁

2024年に生まれた子どもの数（外国人を含む）は72万988人で、統計を取り始めた1899年以降で最少、全都道府県で減少した。日本人の子どもは70万人を下回る見込みである。本県では1万258人で2025年には1万人を割り込む見込みである。この報道に触れたとき、産婦人科医として戦後の第二次ベビーブームを経験した私はにわかに信じられなかった。未発表の合計特殊出生率も2023年の1.20を下回ることは確実である。

岸田前内閣は「異次元の少子化対策」として、28年度までに年3.6兆円規模の対策を実施すると23年末に決めた。しかし、裏打ちとなる財源はゼロであり、増税などによる負担増の議論を避けた岸田前政権は「実質負担ゼロ」を強調した少子化対策も財源は後回しとし石破内閣に引き継いだ。

石破首相は少子化対策には関心は低いようで、1月24日の施政方針演説では「父母がともに育児休業を取得した際の給付率を手取りで10割に引き上げるとともに、保育士等の配置・処遇を改善します」と述べるにとどまっている。予算案では1歳児の保育士配置に109億円、保育所の運営費加算、保育士の給与引き上げなどの処遇改善に1,607億円、発達に特性ある乳幼児健診の早期支援、医療機関での初診前のアセスメント事業に25億円計上した。このほか、育児取得の手取り10割給付、高校授業料や多子世帯の大学授業料の無償化、低所得世帯の大学入試や模試の受験料支援、医療的ケアが必要な子どもの一時預かり事業などを実施する。しかしながら予算案の参議院審議で、そもそもの目的が子ども関連政策の財源確保である高額療養費の限度額引き上げが見送られ、代替財源には高い壁があり、「異次元の少子化対策」は後退を免れないのではないかと。

(新潟市医師会)

今年のイグノーベル賞:「尻呼吸」 尻呼吸で心肺蘇生状態を救う

森 山 美 昭

Ig nobel prize は人々を笑わせ考えさせる研究や開発に与えられる賞で、日本では、18年間連続授賞。今年は東京医科歯科大学の「哺乳類、お尻で呼吸」が受賞となりました。空気の少ない土の中で生存している泥鰌（どじょう）にヒントを得て尻呼吸を哺乳類（鼠と豚）で実験しました。その結果、多量の酸素を溶かし込んだ液体を尻から投与すると血中の酸素濃度が上昇することが発見されました。

尻呼吸のヒトでの応用、更にその有効性や安全性は未だ確認されていないが、出生時十分に呼吸が出来ない赤ちゃんへの一時的な酸素供給手段になる可能性が指摘されています。

今後、少量（60～120ml）で高濃度の酸素を含む液体が開発されれば、腸は第二の肺として、AEDの目的で、心肺停止状態を蘇生することが出来る可能性があります。医療用に開発された高酸素含有液があれば、グリセリン浣腸（＝イチジク浣腸）のように安全に使用できます。効果不十分な場合は追加投与も可能です。投与の目安は子供を含め体重 kg 当たり高濃度酸素含有液 1～2 ml で試みます。しかも効果が不十分でも繰り返しが可能であり、尻呼吸の有効性と安全性を検討し、腸が第二の肺として心肺蘇生に極めて有用であることを早期に確認したいです。

（新潟市医師会）

冷めたコーヒー

富 樫 賢 一

コーヒーを飲み始めたのは受験勉強の頃。もちろん眠気覚ましのため。母がよく夜中にネスカフェを入れては持ってきてくれた。その後も学生時代はコーヒーと言えばインスタント。違いはと言えば粉からフリーズドライに変わったことくらい。

コーヒー豆はアカネ科コーヒーノキ属熱帯性常緑低木コーヒー樹の種子を焙煎したもの。産地は南アメリカ、東南アジア、中央アフリカのいわゆるコーヒーベルト。生産高はブラジルが1位、コロンビアが2位、エルサルバドルが3位。よく知られているコーヒー豆の種類はと言えば、ブルマン（ジャマイカ）、キリマン（タンザニア）、モカマタリ（エチオピア）など。

さて何がいいかな。ブルマンは高いし、キリマンやモカは飽きたし。おや、「ケニア」？飲んだことがない。と、友人がナイロビの自然動物園で働いていたことを思い出す。懐かしい、飲んでみよう。

朝飲む入れ立ての熱いコーヒー。その熱いコーヒーから立ち上る香、苦みと酸味が入り混じった味わい、それは何物にも代えがたい。が、冷めてしまったコーヒーは？苦みだけの茶色の液体。少なくとも今までのコーヒーは皆そうだった。

が、「ケニア」は違っていた。冷めても苦みが残らない。いつまでもマイルド。冷めた方がかえって美味しいくらい。こんなコーヒーには初めて出会った。

若い時は入れ立てのコーヒーのように、高揚感であふれていた。が、年を取るにつれて高揚感は薄れ、倦怠感が漂うように。そして気が付けば、倦怠感さえもなくなって迎えた冷めた老後。

とうに冷めてしまった机上の「ケニア」。その「ケニア」が囁く。「冷めてもそれなりの老後が残っていますよ」と。それなり？どころか私にとっては呪縛から解放された自由で気楽な老後。冷めて苦味を失ったあなたのように。

（長岡市医師会）

シュライバー

伊 藤 聡

静岡県小早川整形リウマチクリニックのナース、永井 薫さんが学会で、「当院はシュライバーがすごい」と発表した。何とクラシックな用語をと思ったが、若い医師やMRさんは理解していないだろうと「シュライバーというのは、今というメディカルクラークのようなもので、医師の言ったことを記録し、助けてくれる人のことだ。ドイツ語の動詞シュライベン由来だ」と解説した。若い人達に「伊藤先生の解説でようやく理解できた」と感謝された。昔新潟大では、偉い教授のカルテは、「書き番」という若い医者がカルテを書いていた。私もやった。さらに歴史のある大学では、「シュライバー」を使用していたようだ。しかし怪しい。動詞にerをつけて人にするのは英語のやり方である（driverやteacher）。和製ドイツ語¹⁾ではないかと思い、知人のドイツ人医師に確認したところ、

Regarding the term “Schreiber,” I can confirm that it is not a commonly used term in contemporary German medical practice. It sounds like it might indeed be one of those unique terms that have evolved in Japan, inspired by older or less conventional German usage. In Germany, we would more commonly use terms like “medizinischer Schreibdienst” to refer to roles related to medical clerks or scribes.

我ながらするどかった。

- 1) 伊藤 聡：日本に生き残っている医学ドイツ語、日本語となったドイツ語について。新薬と臨牀 2018；67：1543-1549.

（新発田北蒲原医師会）

スマートフォンでLINEの活用

品 田 章 二

筆者の携帯電話機にコミュニケーションアプリ、LINEがインストールされ、トーク相手に東京B区の長男と同I区の長女を登録。日曜の朝、家の固定電話機に長男から「LINEで帰省時刻を送りました。見てください」と催促。携帯電話機の使用はタクシー配車の依頼用だけでLINEは数か月間使わなかった。見たのは新潟駅に到着時刻前で幸いであったが「読みました」と伝える手順がわからない。

急な連絡に対処するには自らLINEで情報発信できるように操作に習熟しなければと考えた。

情報入力に文字入力の練習も必要であった。またタップする場所に関して勤務する職場の職員からここ、次はどこ、と具体的に指導を頂いた。どれも大切で役立っており、感謝している。

体得した手順は次のアイコンのタップである。

- ① LINE ② トーク ③ 相手 ④ 情報入力 ⑤ 矢印。

別週水曜の朝、長女にLINEで「午前はどこかにいきます」と送信。長女が読めば左に既読文字。

返信「気をつけてね。絵文字」の右に送信時刻。

LINEは携帯電話機で撮影した写真も送信できて訪問先の写真を直送すれば良く、便利である。

LINEの徹底活用ガイドを書店で買い求め、基本の使い方、セキュリティなどについても学んだ。

LINEの活用にはこまめに着信の有無をチェックすべき、安易に友だち紹介はしない、余計なことや判らないことに賛同しない、が大切らしい。

大型災害の遭遇を予測できない。携帯電話機は絶えず身に付け、一日一回のチェックも大切。素早く情報発信できるような訓練も重要である。

（新潟市医師会）

生前葬をやりませんか？

八 幡 和 明

あるとき「中央とうゆう」のY氏から声をかけられた。「中央とうゆう」とは長岡中央総合病院の糖尿病友の会で、昭和63年に設立し現在まで37年間活動してきた。活動内容は多岐にわたり、食事の勉強会や調理実習、「糖尿病を知るつどい」や「糖尿病ウォークラリー」への参加、楽しい企画としてはハイキング、ティーパーティ、忘新年会、泊りがけの親睦旅行など様々なイベントを開催してきた。会の行事には医療スタッフも積極的に参加して、親睦旅行には子供たちもついてきてくれた。いわば医師と患者の垣根を超えた戦友のような感じで、楽しく活動してきた。行事の後には殿町での付き合いもあった。Y氏はその中心メンバーの一人で酒の飲み方も綺麗。もう30年以上のつきあいとなる。80歳を過ぎても現役で仕事をこなし、あちこち車で出かけては趣味の写真を楽しんでいた。他の会員も設立当初からの仲間が多いので、軒並み80歳前後になってきて、そろそろ体のあちこちにガタが来はじめていた。糖尿病の合併症が忍び寄ってきたり、物忘れが出てきたり、脳梗塞や心筋梗塞で担ぎ込まれてきたり、そしてがんもまたしかりで具合の悪くなる人が増えてきた。次第に一人かけ二人かけしていくたびにやるせない思いが募っていた。「先生、このままいくと皆あっちの世界に行っちゃうからさ、今のうちに集まりませんか？ そうだ生前葬にしましょう。どうせやるならおいしい食事とうまい酒でお祝いしましょうよ」などと相談していた。その矢先にY氏が骨折して某病院に緊急入院したとの連絡が入った。もともと頑健な体の持ち主なので手術をして元気な顔を見せてくれるだろうと思って待っているのだが、予想外の長期入院となっている。まあよ、誰だっていつ何時何が起きるかわからない。元気なうちに楽しい生前葬をやりたいと計画している。

(長岡市医師会)

デジタル教育を憂う

福 本 一 朗

デジタル庁では、小学校からノートパソコンを用いて紙媒体教科書を廃止しようとしています。確かに動画活用や、個人の学習深度に応じた双方向教育にはパソコンの活用は有効と思われます。しかし子供の意見を聞かず、知識詰め込み型教育を打破するために試みられた「ゆとり教育」が学力低下を招いて失敗した轍を踏んではなりません。1990年からデジタル化教育を積極的に導入した「教育先進国」フィンランドでも、近年子どもの学力低下や心身の不調が顕在化してきたため、見直しの動きが生じています。2000年に始まった国際学習到達度調査(PISA)で、フィンランドの子供の読解力第1位、数学的応用力第2位、科学的応用力も1位となって、その好成績に驚いた各国の「フィンランド詣」が続きました。しかし2022年には、その3分野の順位が14位、20位、9位にまで落ちてしまいました。アドレルクロイツ教育相は「教育は急速なデジタル化に対応できるものではなかった」と反省しています。子供達からも「パソコンで見る教科書は一体どこを読めばいいかわからない。紙の方が理解しやすい。」との意見が出たそうです。筆者が大学の教壇に立っていた時、学生達が英語の筆記体を教えてもらっていないため板書が理解できず、解剖学名称なども「単なる暗記は本当の勉強ではない！」と軽視している事に驚かされました。ギリシャ神話ではウラニア達9人の学芸の女神の母親は、「記憶の女神：ムネーモシュネー (Μνημοσύνη)」とされています。愛知県の私立小学校では、「祇園精舎」や「雨ニモ負ケズ」などの詩文をノートに書いて暗記させ、武道鍛錬の様に「体で覚えさせる」教育法を取り入れており、デジタル万能時代における微かな希望となっています。思えば高校生時代暗記させられた歴代天皇名や米国大統領名は、入試には直接役に立たなくても生涯の宝となっています。

(長岡市医師会)

「日本地域医療学会」のご紹介

藤 森 勝 也

「日本地域医療学会」をご存知でしょうか？この学会は、令和3（2021）年9月1日に設立され、令和4（2022）年度から本格的に事業を開始した学会です。役員は「地域医療を守る病院協議会6団体からそれぞれ推薦を受けた理事」であり、6団体で運営されています。超高齢化、少子化が進む日本において、患者が抱える複合的な疾患を総合的に診て、地域全体で治し・支え・寄り添う医療、「地域包括ケア」を実践する「地域総合診療専門医」を育成する学会です。「病気を診る」だけでなく「ひとと地域をまるごと診る」、患者さんに寄り添い、地域のニーズに合わせた医療・介護・福祉を総合的に提供する地域医療を実践できる人材を育てる学会、そしてそのありたい姿を探る学会でもあります。地域総合診療専門医制度を創り、「地域総合診療専門医」、「地域総合診療指導医」、そして「専門研修プログラム」認定を行っています。令和7（2025）年2月の時点で、プログラムは、35道府県59施設にあります。新潟県では、あがの市民病院、小出病院、十日町病院、津南病院の4病院のプログラムがあります。地域総合診療専門医は313名、指導医は237名です。学会では、「JACH地域医療ゼミナール」と名称したWeb形式講演会を年10回程度行っています。まだまだ会員数が少なく、これからの学会ですが、労働人口の減少が予測される近未来に、地域が求める医療を担う重要な人材を育ててくれるのではないかと考えています。第4回学術集会を、令和7（2025）年10月11日、12日に、新潟市、朱鷺メッセコンベンションセンターで開催いたします。メインテーマは、「地域で学び、地域に活かし、みんなで育み紡ぐ、未来希望の地域医療」、サブテーマは、「東西両医学の調和と患者中心の医療」です。皆様のご参加をいただきたく、広報させていただきます。

（新発田北蒲原医師会）

ニンジン

浅 井 忍

この度入院して気づいたことがある。N病院もNR病院も入院食にニンジンをよく使っている。それも驚くほどの頻度なのだ。1か月に食事が約90回出るとして、N病院ではニンジンを使っていない食事の回数は、6回であった。2品のおかずともにニンジンが使われていたこともあった。NR病院はニンジンの使用はN病院より控えめなものの、それでも尋常でない回数である。なぜニンジンはこのよう頻回に入院食に顔を出すのだろう。

病室を訪れた管理栄養士に尋ねてみた。予期していない質問に驚いた表情をしたが、「栄養といろどりです」と明確に教えてくれた。ニンジンが使われるのは、まさしく栄養と鮮烈な赤色が提供できるからだろう。それしても、ニンジンを食べて感じることは、以前に比べてニンジンに癖がなくなったことだ。ニンジンのえぐみと揮発臭はどこに消えてしまったのだろう。

話は変わるが、ニンジンの話をしてジュール・ルナールの『にんじん』（新潮文庫／2014年）に、触れないわけにはいかない。1894年に書かれたもので、ルナールの子供時代を日記形式で綴っている。赤毛でそばかすだらけのにんじんを、母親はのべつじめる。毒母による肉体的精神的虐待の物語である。にんじんが父に相談すると、「あの女を好きだと思うか？」と答えた。家を出たいというと、学校に行かなければならないと諭される。その後も虐待が止むことはなかった。

ニンジンは人気野菜ではない。あくまで脇役だ。ネットには、ニンジンが多量に食べることができるメニューのニンジンしりしりを紹介している。しりしりは沖縄の方言で千切りのことを指す。最近、料理の世界で使われるようになったという。残念ながら、入院中にしりしりにはお目にかかることはなかった。

N病院を退院する日の朝食のメニューは洋食を選んだ。それは、クロワッサンにハムエッグ、ブロッコリーとキュウリのサラダ、ヨーグルト、それとニンジン入りの中華スープだった。

（新潟市医師会）

山を焼く

横 森 忠 紘

最近各地に山火事が頻発して、甚大な被害が報告されている。かつて日本には、山の木を焼くことによって食糧を生産する方法が行われていた。焼畑（やきはた）農業である。

私が生まれ育った山梨県は、県土の大半が険しい峰々に抱かれた山林である。甲府盆地のような平坦地でも殆どが砂地で、水田耕作には適さないため独特の農法で多くの雑穀を耕作してきた。私の幼年時代には焼畑農業が各地で行われていた。秋が深まると、四方の山々で何日も火が燃えて風向きによって香ばしい匂いが漂ってくる。

焼畑農業とは区域を決めてその場所の木をすべて伐採して、乾燥してから火をつけ何日もかけて全て焼き払い、その灰を肥料として雑穀を耕作する方法である。焼畑には、稗・粟・蕎麦・とうもろこし・大豆などを植える。普通畑に比較すると収穫量が低く広大な面積が必要となる。しかも次第に土地がやせてくるので耕作は3年で打ち切って、4年目には植林を行い新たな山林が造られる。

そして16年目に再び焼畑が行われる。毎年収穫するためには一度に3～4カ所の焼畑が経営されなければならない。焼畑で最も重要なことは防災帯作りである。焼畑の四方の木や草を刈り取って土砂を盛り類焼を防ぐ必要がある。

山梨県早川町奈良田は、県の南西部最奥に位置し、南アルプスの峰々に囲まれた山峡の部落である。伝説によると、奈良の都から政変に敗れて落ち延びた朝廷の一族が住み着いたとのことで、地名の由来となっている。土地は急峻で平坦地は無いため水田耕作はほとんど行われず、焼畑が主業として行われてきた。しかし昭和30年に、発電所建設のダム設置により部落が高台に移転したために、千年以上の間幾世代に亘って続けられた日本最後の焼畑農業は突然終わりを告げた。

奈良田には現在「焼畑記念館」が設置され、焼畑に使用された968点の農具と当時の貴重な写真や資料が展示されている。

（小千谷市魚沼市医師会）

雪解谷

岩 淵 伊 織

ふるさとの雪の如くに骨白し
角がとれ丸くなりつゝ雪残る
終焉と言う優しさや残る雪
一瀑となる一滴の雪解かな
雪解谷引きずり込んで瀑布落つ

白鳥の帰りしあとのただの闇
大切な人とも別れ春浅し
初花の明日と言う空美しき
初花の風とささやきあい開く
少年を待つ父母に花の雨
いつしかに父母遠し花の雨
新学期過ごせば渡米する子かな

（三条市医師会）

リズムが乱れぬ演奏は人間的か？

丸 山 晋 司

集団で行う音楽演奏では、それぞれがバラバラの演奏をしたのでは統一性がなくだらしく聞こえるので忌み嫌われます。そのために指揮者がいます。しかし単に音のタイミングを合わせるだけならメトロノームでもいいわけで、無音にしたメトロノームを指揮台に載せ、その振り子を見ながら全員が演奏すれば乱れることはないはずです。

しかしそれでは音楽にならない。興奮すれば速くなるのが自然だし、落ち着いたらテンポも落ちるのが自然です。また1拍の長さは必ずしも同じではありません。打ち込み系といわれる一定のリズムで押し通す音楽も存在しますが、それ以外の音楽ではテンポは一定ではなく、曲中で揺れるのが一般的で、そのほうが自然な感じを受けます。

ジャズではレイド・バック（Laid Back）といわれる奏法が一般化しており、これは何と強拍（表拍）がわずかに遅れます。でもスウィングポイントといわれる裏拍はピタッと合わせます。タータ・タータとほぼ3連符の尻尾に裏拍が来たり、これが16分音符の尻尾になったり、5連符の尻尾に来たりして一定しません。一定しないのにどうして奏者たちが合わせられるのか？ はい、その場のノリ（グルーヴ）というやつですね。合奏の醍醐味でもあります。

3連符の尻尾を裏拍とすると、頭は6連符の2つ目で演奏すると、全体では各音符の音価（音の長さ）は一定になり、バックがなければ完全な8分音符となります。レイドバックした8分音符です。

一定のリズムで官能的なのはお祭りの太鼓くらいでしょうか。ほぼ一定のリズムで延々と演奏されますが、これはこれでトランス状態になる？ これは音楽を聴かせるというより祭祀的な意味合いが強いので、目的が違うのですね。同じリズムを延々と聞かされると確かに別世界に誘われるような気がします。

（小千谷市魚沼市医師会）

私は横浜街づくりのファン

和 泉 徹

故いしだあゆみにかこつけたわけではないが、横浜とは不思議な縁を感じる。1970年頃、学的好奇心から“ミナトヨコハマ”探検を思い立つ。横浜駅から神奈川名の由来ともなった帷子川（かたびらがわ）沿いを遊歩した。しかし、金川（かながわ）と呼ばれた鉄分を含む金色の川面は既に失われ、溝川化していたと記憶する。気を取り直し、浮世絵にも描かれた金沢八景も訪問。だが、ここも風光明媚どころか、潮引けば湾の底にヘドロが現れた。山下埠頭から外人墓地、フェリスの丘と更に巡ったが、異国の雰囲気の色濃く感じただけだ。ヨコハマ女性が好んで使う“ジャン”弁にも強い抵抗感が募った。新潟人として生きると決意した。

後日、横浜での研究会に参加した秋、運悪く台風の直撃をくらった。山下公園近くのホテルに閉じ込められ、強い風に煽られて路上を舞う看板やバケツを呆然と眺めた。海のプロントにあり、その埋め立て地であることを実感した。横浜は寒村であった。1859年（安政6年）の開港以来、急速な発達を遂げ、今や370万人余の国際都市である。明治3年から埋め立て事業を幾度となく繰返した。山下埠頭や中華街がその代表例。その歪が高度成長期に顕在化した。その負の側面に私は衝撃を受けた。ところが、1980年代に始まった“みなとみらい21プロジェクト”は横浜を一変させた。新たな埋め立てや跡地利用、高層ビルや地下鉄建設を推し進め、旧い街並みをきれいに遺して広く整理した。今や観光スポットやイベントに溢れ、名所・旧跡も多く、歩いて楽しい街になっている。1995年に神奈川人登録をして以来、横浜街づくりのファンを続けている。

今回も二週間と空けず、“みなとみらい”の学会イベントを楽しんだ。学術情報は満載、中華は天下一品。そして野毛はレトロだった。

（新潟市医師会）